令和８年１０月１６日

鳥取市議会議長　星見　健蔵　様

議会広報広聴委員会
委員長　加藤　茂樹

令和８年度鳥取市議会 議会報告会・意見交換会報告書

このことについて、開催状況等の取りまとめを行いましたので、次のとおり報告します。

１　開催概要について

令和８年度は大学生を対象に開催することとし、公立鳥取環境大学及び鳥取大学の学生との「議会報告会・意見交換会」を開催しました。

（１）公立鳥取環境大学

・日時　　令和８年７月 22 日（水）15 時 00 分～16 時 30 分
・場所　　鳥取環境大学学生センター２階多目的ホール
・参加者　学生 12 名、議員 16 名
・日程
　① 開会　②議会報告　③意見交換　④発表　⑤議員謝辞　⑥閉会
・意見交換テーマ
　Ⓐ若者の市政参画について
　Ⓑ環境政策について
　Ⓒ移住定住の推進と関係人口拡大について
　Ⓓ中心市街地の活性化について
　Ⓔ魅力ある中山間地域の振興について

（２）鳥取大学

・日時　　令和８年７月 29 日（水）13 時 30 分～15 時 45 分
・場所　　鳥取市役所本庁舎７階全員協議会室他
・参加者　学生 11 名、議員 12 名
・日程
　①開会　②議会報告　③意見交換　④発表　⑤議員謝辞　⑥閉会
・意見交換テーマ
　Ⓐ観光の推進について
　Ⓑ環境政策について
　Ⓒ交通ネットワークの充実について

２　議会報告会について

意見交換の時間を確保するため、議会報告は 15 分程度とし、議会の概要について説明を行うとともに、令和８年度予算と令和７年度決算について、各審査特別委員会の委員長報告で取り上げた内容について報告しました。

３　意見交換会について

進行役議員を中心に話しやすい雰囲気作りに努め、ホワイトボードや模造紙、付箋を活用しながら行いました。

学生からは、大学生ならではの発想や日常で感じている事柄などを直接聴くことができ、さらに改善するための提案などをいただき、大変有意義な会となりました。

４　今後の課題について

市民に開かれた議会となるため、今後、より多くの市民の参加が図られるよう開催方法や周知方法など検討する必要があると考えます。

５　意見・要望等について

意見交換でいただいた意見・要望等については、全議員で共有し、今後の議会・議員活動に活かしてまいります。

添付資料

① 令和８年度鳥取市議会 議会報告会・意見交換会報告書
（公立鳥取環境大学 A・B・C・D・E グループ、鳥取大学 A・B・C グループ）

② 令和８年度議会報告会・意見交換会アンケート集計

会場の様子

（公立鳥取環境大学）

意見交換Ⓐグループ





意見交換Ⓑグループ





意見交換Ⓒグループ





意見交換Ⓓグループ





意見交換Ⓔグループ





発　表









集合写真



（鳥取大学）

意見交換Ⓐグループ




意見交換Ⓑグループ




意見交換Ⓒグループ




発　表





集合写真



鳥取環境大学Ａグループ

様式１

令和　８年　８月１２日

「鳥取市議会 議会報告会・意見交換会」報告書

このことについて、下記のとおり報告します。

テーマ	若者の市政参画について
担当議員名	勝田鮮二(進行)、魚﨑　勇(書記)、西尾彰仁
意見・要望等	○大学との連携 ・事前登録無しで自由に聴講できれば議会の傍聴がしやすい。 ・授業の単位となるなど参加するメリットがあれば学生もボランティアに参加しやすい。 ・大学と連携した意見交換会等で直接市議と話せる機会があると興味を持ちやすい。 ・県外者にもわかりやすい説明が欲しい。 ・市政と結びついた教育プログラムが欲しい。 ○選挙 ・期日前投票の時に手ぶらでもいいことをアピールして。 ・悪いイメージが残っている（騒音等。） ・Web 投票等があれば参加しやすい。 ・興味があることを診断で分かるようにする。 ・分かりやすい議会報告を行って欲しい。 ○SNS ・SNS を活用し、若者がよく行く場所に情報をのせて欲しい。 ・若者に情報が届きづらい ・県外生（大学生）も取り組める情報が少ない。 ○その他 ・小学生や中学生にも機会を設けて欲しい。 ・議会とは関係のないイベントの開催があってもいい。
所　　見	学生の視点での色々な意見が聞けれて有意義でした。 これらの意見を生かして若者の市政への関心を高めて、投票率の向上につながっていくよう努力しなければならないと感じた。

鳥取環境大学Bグループ

様式1

令和8年8月13日

「鳥取市議会 議会報告会・意見交換会」報告書

このことについて、下記のとおり報告します。

テーマ	環境政策について
担当議員名	吉野恭介(進行)、上杉栄一(書記)、米村京子
意見・要望等	○太陽光パネル設置とその後の処理 ・太陽光パネルの設置推進については、更に設置を進めるという意見が多数。 ・一方で、使用後のパネルの処理・リサイクルの方法や対策の進め方をどうするのか、将来のことを考えながらこの重要課題に取り組んで欲しい。 ・設置された土地の管理(土砂災害など、防災、景観)を誰がどのように行うのか。 ・設置のメリットを享受するだけではなく、ライフサイクル全体(廃棄・再資源化)を含めた計画が求められる。 ○広報・周知 ・脱炭素先行地域に選定されている若葉台地域の環境政策や施策が学生に十分届いていないのではないかという指摘があった。 ・環境省の毎年のフォローアップ資料などで進捗は確認できるが、一般市民向けへ進捗状況や、抱えている課題が届いていない。 ・今後は、選定地域の施策進捗を周知し、地域住民や関係者への説明を強化する必要がある。 ○海洋ごみ対策 ・会議では、海洋ゴミ、特に漂着ゴミへの対策に関する意見が提示された。 ・漂着・海洋ゴミ対策を含めた、環境施策の整合性や優先順位付けが今後の検討課題となる。
所　　見	・参加者それぞれが、日頃感じていることや提案など積極的に発言され、良かったと思う。 ・議員にとっても、学生の生の声を聞く良い機会になったと思う。

鳥取環境大学Ｃグループ

様式１

令和８年７月２９日

「鳥取市議会 議会報告会・意見交換会」報告書

このことについて、下記のとおり報告します。

テーマ	移住定住の推進と関係人口拡大について　（C グループ）
担当議員名	岡田信俊、平野真理子、岡田　実 （進行）　　（書記）
意見・要望等	■日　時　令和８年７月２２日（水）15 時～16 時 30 分 ■場　所　鳥取環境大学　学生センター2 階　多目的ホール ■参加者　鳥取環境大学　学生　３名 ■内　容 移住定住の推進と関係人口の拡大について、学生が知りたいこと、気になっていることを付箋紙に書いて整理し、それぞれについて議員へ質問したうえで、議員が答えながら、相互に意見交換を深めた。 **１．学生が付箋紙を整理した内容について** **【観光と魅力】** ・SNS を使った鳥取の PR をされているが、発信する前と後で変化はあったか。 ・観光地とからめて関係人口を増やすのは可能ですか？ ・みなさんの思う鳥取県・市で住むうえでの魅力は？ **【若者】** ・進学で出ていく学生たちについてどう思いますか？（進学したい学部が無い等はおいといて、都市部に行きたいといった感じの人たち） ・高校生や大学生に定住してもらうためにアピールしていること。 ・若者（～20 代）の定住率どれくらい？ **【議会の人達に聞いてみたいこと】** ・政策は年数では成果がでないと思いますがその点について（続けていくうえで）どう考えていますか？ ・議会の中で移住定住の推進の重要度はどれくらいですか？ ・移住定住するにあたって、ねらっている層はどこですか？

	【関係人口】 ・関係人口を増やすための具体的な取組みは何ですか？ ・関係人口はどの世代が多い？ ・関係人口という言葉はどれくらい知られているの？ ・若い世代を関係人口としてかかわってもらうための取り組み。 ・関係人口はどれくらいの関係値で含まれると思いますか？ **2．意見交換によるまとめ　～学生の気づきによる発言から～** 実際に関係人口の拡大をどのように進めるかということについて、まず若い世代がいかに地元について知っているのか、地元を知ったうえで県外に出た後にどのように関係人口として関わっていくかということが大切である。そして地元を知っているからこそ地元の課題に気づき提示して、その課題解決のためにどうしていきたいかということを考えてもらい、さらには課題解決をするために新しい分野での起業につながる可能性もある。こうした流れが、移住定住の推進と関係人口の拡大につながるのではと、話がまとまった。
所　　見	・学生からの質問に対して議員として深く答えられたかどうか…反省点も多かったが、学生からは、気になっていた事や知りたかった事をほぼ答えていただいたと感想を頂いた。 ・意見交換の中で知りたかったことや気になっていることが整理されていく過程で、学生からまとめの発言があり、全員で共有した。 ・学生の質問とまとめ方の的を得た切り口に感銘を受けた。今後の活躍に期待する。 ・今後の意見交換会をより充実するために、もし学生から質問等がある場合は、事前に質問内容を聞いておくことで、より具体的な返事と充実した意見交換ができるのではと思う。

鳥取環境大学Dグループ

令和８年８月６日

「鳥取市議会 議会報告会・意見交換会」報告書

このことについて、下記のとおり報告します。

テーマ	中心市街地の活性化について
担当議員名	寺坂寛夫(進行)、太田　縁(書記)、吉田博幸、砂田典男
意見・要望等	1. まち歩き 鳥取駅周辺や城下町には、鍵道や古い町並み、長年営業を続ける店舗、民芸運動など多くの歴史・文化資源が残されている。これらをストーリー性のある「まち歩きツアー」として発信することで、市民や観光客が地域の魅力を再発見できると考えられる。また、古地図やWebを活用したガイドなど、誰でも参加しやすい仕組みづくりも有効である。 2. 暮らしやすいまち 歩道の段差や舗装の傷みは、高齢者や車椅子利用者にとって移動しにくい状況となっており、バリアフリー化が必要である。また、案内サインの充実や駅周辺へのデジタル案内板の設置、公共交通機関の利便性向上が求められる。夜間は駅周辺やバスターミナル、市街地が暗く、防犯面や観光客への印象の面からも、高速バス最終便の到着時間までは照明を確保するなど、夜間環境の改善が必要との意見があった。 3. 交流拠点づくり 学生や若者、地域住民が自由に交流できる拠点の充実が望まれる。不真面目商店のような交流拠点を増やし、多世代が気軽に集まれる場を整備することで、中心市街地のにぎわい創出につながる。また、イベント情報を発信する媒体の充実も必要である。 4. 空き家・空き店舗の活用・公営住宅の活用 空き家や空き店舗を活用したまちづくりを進めるとともに、長期出店だけでなく、週単位や期間限定のポップアップショップなど短期間利用を取り入れることで、新たな来訪者の獲得や継続的なにぎわい創出が期待できる。また、駅周辺の店舗については、雨や雪の日でも利用しやすい動線づくりが望まれる。 また、駅構内の店舗については、駅から直接利用できる店舗が限られており、雨や雪の日には一度屋外へ出る必要があることから、利用しやすい動線づくりが望まれる。 公営住宅については、高齢者と学生・若者が同じ建物で暮らし、日頃から交流や見守りを行える仕組みを検討してはどうかとの意見があった。平時には地域コミュニテ

鳥取環境大学Dグループ

	ィの形成を促進し、災害時には互いに助け合える関係づくりにつながることが期待される。 　また、発災時には空き部屋を避難スペースや行政の情報拠点として活用することも検討してはどうかとの意見があった。
所　　見	鳥取駅は多くの学生が利用する交通結節点であり、中心市街地についても、歴史や文化に触れるまち歩き、飲食、買い物などを目的に訪れる人がいることが分かった。中心市街地の活性化に向けては、新たな商業施設の整備だけでなく、既存の空き家や空き店舗を活用し、大学生・高校生・地域住民が交流できる拠点づくりが重要であるとの意見が出された。また、長期的な店舗誘致に加え、期間限定のポップアップショップなど短期間の利用を取り入れることで、継続的なにぎわい創出につながるとの提案もあり、他地域の事例を参考に鳥取市でも検討していく必要がある。 　一方で、駅周辺は夜間に暗く安全面への不安があることや、歩道整備についても、杖を利用する高齢者などにとって歩きにくい場所があるなど、誰もが安心して利用できる環境整備の必要性も指摘された。 　今回の意見交換では、大学生ならではの視点から、中心市街地の魅力や課題、今後の活性化に向けた具体的な提案を得ることができた。

様式１

令和　8年　7月22日

「鳥取市議会 議会報告会・意見交換会」報告書

このことについて、下記のとおり報告します。

テーマ	魅力ある中山間地域の振興について
担当議員名	中山明保(進行)、大谷達也（書記)、長坂則翁
意見・要望等	・中山間地域と一括りにするのではなく、地域ごとの実情や課題を把握し、それぞれに応じた施策を検討すべき。 ・日常生活に支障が出る課題（生活交通、買い物環境など）と、「あれば便利」という課題を分けて優先順位を整理する必要がある。 ・子どもの減少や交通の不便さが、中山間地域の大きな課題となっている。 ・乗合タクシーなど、地域の実情に応じた移動手段の充実を進めてほしい。 ・定住人口だけでなく、関係人口の拡大や継続的な関わりを増やす視点が重要であり、長期的な人口増加につながる施策が必要。 ・補助金制度については、交付するだけでなく成果を検証し、効果を確認する仕組みが必要。 ・農村 RMO（農村型地域運営組織）の推進は、人手不足の解消や地域運営の担い手確保につながる可能性がある。 ・地域が主体的に取り組めるよう、行政から地域への権限移譲を進めるべき。 ・災害時には、避難物資や支援物資を地域の判断で柔軟に活用できる仕組みが必要。 ・行政主導だけでなく、住民による内発的な地域づくり・地域おこしを支援してほしい。 ・若者が農業に魅力を感じられる環境づくりが必要であり、収入の安定や働き方の改善が求められる。 ・現状では一次産業は「きつい・汚い・危険」というイメージが強く、若者が関心を持ちにくい。 ・中山間地域では農業だけで生計を立てることが難しく、兼業

	を前提とした働き方も必要ではないかとの意見があった。 ・「住みたい」と思える中山間地域にするため、買い物環境や娯楽、雇用の充実が必要である。 ・家賃は安い一方で仕事が少ないことが、移住・定住の課題となっている。 ・中山間地域の交通利便性の向上を図ってほしい。
所　　見	今回の意見交換会では、中山間地域に対する学生の率直な意見を聞くことができた。特に、「中山間地域」と一括りにして議論するのではなく、地域ごとの実情に応じた課題整理が必要であるとの意見や、生活交通・買い物環境など、日常生活に直結する課題を優先して改善すべきとの意見が印象的であった。 また、若者の視点からは、仕事や交通、生活環境が整っていなければ「住みたい」と思えないという現実的な意見が多く出された。一方で、農業や地域づくりに関心を持つ学生もおり、収入の安定や新しい働き方などの環境整備があれば、中山間地域の担い手となる可能性も感じられた。 参加した議員が学生からの疑問や意見に対して、自身の経験や行政の現状を交えながら丁寧に応答し、学生と共に課題や解決策を考える姿勢が見られた。また、議員が必要に応じて情報や知識を補足することで、学生が安心して発言できる雰囲気がつくられ、学生主体の活発な議論につながった。世代を超えて率直な意見交換が行われ、互いの考えを深める有意義な機会となった。 さらに、補助金制度の効果検証や、地域住民が主体的に活動できる仕組みづくり、行政から地域への適切な権限移譲など、持続可能な地域づくりに向けた提案も挙げられた。 今回の意見交換を通じて、中山間地域の振興には、若者の視点を取り入れながら、地域ごとの課題を丁寧に把握し、生活基盤の確保と地域主体の取組を両立させることが重要であると改めて感じた。また、議員と学生が対話を重ねながら相互理解を深めることは、若い世代の政治や地域づくりへの関心を高める上でも有意義であり、今後も継続してこうした意見交換の機会を設けていくことが重要であると感じた。

鳥取大学Aグループ

様式１

令和８年　７月　29日

「鳥取市議会 議会報告会・意見交換会」報告書

このことについて、下記のとおり報告します。

テーマ	観光の推進について （オーバーツーリズム、観光地の住民の生活とのバランス）
担当議員名	石田議員（進行）、水口議員（書記）、金田議員、西村議員
意見・要望等	・住民と観光客が交流できるイベント（御当地文化の体験や地元の方等との交流）などがあればよい ・観光地のポイ捨てごみ対策（ごみ箱の設置個所数が少ない、逆に設置を無くすことでも効果はあるなどの意見） ・関西圏などのバスの充実（アクセスの強化） ・汽車等の乗車マナーや乗り方など外国人観光客に分かりやすく周知する必要がある。（多言語案内等） ・留学生向けのインバウンド対応は？少ない？！のでは・・・ ・バーチャル（動画）観光の推進で観光客を呼び込む。（特に若者はインスタやTikTokなどを参考にしている）流行を取り入れることは観光戦略の一つである ・宣伝効果について：コナン列車のラッピング一つみても、外観は楽しめるけど、内装は楽しむことはできないので、内装にもこだわるなど関係機関とも協議検討すべきである ・ツーリングに来られた方のバイクの騒音問題も考えるべき ・鳥取といえば温泉が有名である。（若者の中でもインスタ等に上がるくらい人気があるが、周知が不足ではないかと感じる。温泉に入って終わりではなく、食べ歩きできるような温泉街があれば利用されるのでは・・・景観や自然を活かすことも重要） ・しゃんしゃん祭りの歌詞と踊りがリンクするようなプロモーション動画等をつくって祭りをもっとアピールしてはどうかという意見（この度来られた地元学生も知らなかったこともあり、歌詞の意味をもっと知ってもらう）宣伝効果を狙う。
所　見	このたびの意見交換会で、本市の取組の事も学生の皆さんに知っていただけたこと。また、若者の皆さんの意見や発想など新しいことが知れてよい機会になったと思います。時間が限られていることもあって、少し物足りない感もあったのではないかと思いますが、こういった交換会も今後もしていくべきなのかなと感じました。

鳥取大学Bグループ

様式　1

令和8年 8 月6日

「鳥取市議会　議会報告・意見交換会」報告書

このことについて、下記のとおり報告します。

テーマ	環境政策について　①廃棄物処理、②分別、③歩きたばこの問題
担当議員名	伊藤幾子（進行）、坂根政代（書記）、浅野博文、雲坂　衛
意見・要望等	1、廃棄物処理について…産業廃棄物と一般廃棄物などがわからない。大型ごみの処理の仕方がわからない。 ↓ （議員から）・鳥取市公式ラインに対処の仕方などが記載されているので周知を。また、大型ごみの場合は、業者やお店等へ問い合わせることができる。 2，分別について…分別の理解はするけど、いつ出したらよいかわからない。地域ごとのルールがわからない。高齢者のゴミ出しの支援や外国の方へわかりやすく周知をする必要がある。果たして、分別は必要か？一人暮らしの学生には、ゴミ袋が高いのでどうにか対応して欲しい。 ↓ （議員から）・鳥取市公式ラインで理解を。一人暮らし等の高齢者にはふれあい収集の支援がある。外国の方にも鳥取HPやパンフレットなどでわかりやすいわかりやすい周知に努めている。地域のルールは、自治会などに問いあわせを。 ・現場の声をもとに分別は必要か、と提起いただいたが、リンピアの建設時の議論・協議であり、また、国の法律に基づいて行っている。 ・物価高の折、よりゴミ袋代が高いと実感があるのだと感じる。　鳥取市政へ学割の意見があったことを、伝える。 3，歩きたばこの問題…鳥取大学や鳥取駅周辺で歩きたばこをしている人をよく見かける。アルバイト先のお店の前にはたばこの吸い殻が多く捨てられている。環境的にもよくないし、受動喫煙で健康を害するなどが生じる。鳥取市としての対策をお聞きしたい。 また、鳥取駅の北口との喫煙場所は必要か？撤去する、または、子どもたちや市民の受動喫煙がないよう遠いところへ移動をして欲しい。 ↓ （議員から）・平成20年に「鳥取市快適な生活環境を確保するための条例」が制定されている。それにより、担当課がパトロールや取り締まりなど行っているが、十分ではない。「条令」の周知をより行っていく必要がある。 ・調布市では「受動喫煙防止条例」が制定されており、喫煙してよい場所といけない場所が明示されている。子どもたちの通学路は喫煙禁止区域。鳥取市でも、このような条例等の研究が求められる。 ・駅北口の喫煙場所は、撤去。または、駅舎外れへの移動が必要。と市政伝える。
所　見	日常生活で感じていること、研究していることを踏まえ、様々な意見を出していただき鳥取市としての取り組みなども紹介し、意見交換ができた。このような意見交換を通し市政の見直しなどをしていかないといけない。出された意見を市政に反映することが次の私たちの任務であろう。

鳥取大学Ｃグループ

様式１

令和８年７月３１日

「鳥取市議会　議会報告会・意見交換会」報告書

このことについて、下記の通り報告いたします。

テーマ	交通ネットワークの充実について
担当議員名	谷口　明子(進行)、加藤　貴志(書記)、秋山　智博、足立　考史
意見・要望等	鳥取市内の公共交通機関および移動環境について、以下の４点（バス・汽車・共通課題・自転車等）で具体的な改善提案がなされた。 **(1) バスに関する意見** ・**バス停環境の改善**：屋根やベンチの設置により、寒暖差に左右されない快適な待ち環境を整備する。 ・**「くる梨」等の路線・エリア拡大**：鳥取大学～鳥取北イオン～鳥取空港を結ぶ循環バスの新設、駅南側や他駅周辺への運行拡大、および路線同士の乗り換え利便性の向上を図る。 ・**利用案内の分かりやすさ**：目的地までのバス路線の検索が難しく、スマホを使わない層も含め、目的地別の路線やバス停が一目で判明する専用マップの作成が必要。 ・**自動運転技術の導入推進**：ドライバー不足対策および便数維持・増便のため、安全性を確保した上で自動運転システム等の導入を進める。 **(2) 汽車（JR）に関する意見** ・**車内座席レイアウトの工夫**：ボックス席からロングシートやクロスシート（進行方向向き）への変更により、乗車率向上と混雑緩和を図る。 ・**通勤・通学時間帯の混雑緩和**：朝夕のピーク時間帯における車両数の増設および上記の座席改善を行う。 ・**旅行者・外国人向けのアナウンス強化**：手動ドア（ボタン式）や１列目車両のみ開閉するシステムに対し、到着時の車内アナウンス等でわかりやすく周知する。 ・**無人駅での緊急連絡体制**：無人駅において、路線でのトラブル発生時に備え、緊急体制を明確にし、連絡先とその対応について、利用者が困らないようにわかりやすく表示する。

	(3) バスと列車の連携・財源確保に関する意見 ・**運休・遅延時の輸送と接続強化**：天候不良等による列車遅延時にも困らないバス運行や、日常的な列車とバスのダイヤ接続（乗り継ぎ円滑化）を徹底する。 ・**自主財源の獲得による維持費確保**：鉄道イベントの開催や車両ラッピング広告の積極活用等により収益を上げ、運行維持費に充当する。 **(4) 自転車利用環境および免許返納促進に関する意見** ・**通行空間の安全確保**：狭小な車道・歩道を拡幅し、自転車が安全に通行できるインフラを整備する。 ・**高齢者の免許返納支援**：公共交通全体の充実を図ることで、自家用車に頼らざるを得ない環境を改善し、高齢者が安心して運転免許を自主返納できるまちづくりを推進する。
所　見	今回出された学生の意見は、日常的に公共交通を利用する若者ならではの実用的な視点と、観光客・高齢者等も含めた「誰にとっても使いやすいまち」を目指す総合的な視点が融合した非常に有益な提言であり、これらの課題解決のためには本市だけでなく、関係機関（交通事業者・警察・県等）と連携し、今後は検討・対応を進めるべきと考える。

令和８年度議会報告会・意見交換会　参加者アンケートの集計結果について

Q1 参加者について

1．年齢

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	未記入
3	19	0	0	0	0	0	0

2．地域

鳥取	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	その他
16	0	0	0	0	0	0	2	0	4

Q2 会議について

1．開催場所

良い	悪い	どちらともいえない	未記入
22	0	0	0

2．開催時間帯

良い	悪い	どちらともいえない	未記入
20	1	1	0

Q3 議会報告会について

1．時間の長さ

ちょうど良い	短い	長い	未記入
18	4	0	0

2．内容

分かりやすい	分かりにくい	どちらともいえない	未記入
21	0	1	0

3．お気づきの点

・時間管理はもう少ししっかり行っていただき、まとめの時間をより取れたらよかったです。

・なかなか市議の方とお会いして話すことがないので、大変、貴重な機会でした。

・発表の際に、みなさんがあたたかく見守ってくださり、安心して前に立つことができました。

・貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

・普段聞くことができないお話や議会の内容などを知ることができ、貴重な経験だった。

・それぞれのグループで話したことがしっかりまとめられていて、他のグループでの意見から新しい気付きもあり良かったです。

Q4 意見交換会について

1．時間の長さ

ちょうど良い	短い	長い
16	6	0

2．進行

良い	悪い	どちらともいえない
22	0	0

3．テーマ

良い	悪い	どちらともいえない
18	0	4

4．お気づきの点

・初めてで緊張した。アイスブレイクの時間がもう少しほしい。

・環境政策について、など少しテーマが大きくて、少しはじめ考えにくかった。

・お話の結果がどのように反映されたのか不明でしたので、市長にお伝えした等、事後報告があると嬉しいです。

・テスト前なのがネックでしたが参加できて良かったです。もう少し早めに開催してくれたらより良かったです。

・少しテーマが広いように感じた。環境政策　⇒　脱炭素というような形で。

・もう少し議員の方の話が聞きたい。フリートークイベント(雑談の会)のようなものが欲しい。

・はじめは緊張しましたが、どんな意見でも尊重して向き合ってくださってやりやすく感じました。

・話しやすい雰囲気でよかったです。

・一人一人が自分の意見をしっかりと述べれる空気感で大変良かった。

・議員の方々が話しやすい雰囲気をつくってくださり、とても意見がしやすかった。

・学生の提案に対して、議員の皆様が現状を丁寧に教えてくださったので、より現実的な意見にまとめることができました。数名がグループ移動したことで、他のグループで話した内容を取り入れながら広い視野で考えることができてよかったです。

Q5　市議会だよりについて

	（人）	（割合）
①よく読む	0	0%
②必要な部分だけ読む	2	9%
③あまり読まない	8	35%
④まったく読まない	13	57%
未記入	0	0%

Q6　市議会だよりに対するご意見・ご要望

・簡潔に書かれていると時間がなくても読める。イラストとかだと読みやすい、見やすい。

・分野・政党ごとに分けてほしい。一覧にされると少しわかりにくい。

・大学の学報とかにも掲載(ダイジェスト版として)していただけたら、多くの学生の目に触れると思います。

・実際に「市議会だより」を見たことがなかったです。議会で決まったことや、私たちの生活に関わる政策などたくさんの情報を初めて知ることができました。

・そもそも置いてある場所を知らないため、手に取ったことがありませんでした。大学生の生活圏に分かりやすい形で置いてあれば、市議会や行政に関心のある人が手に取りやすいのではと思いました。

・読んだことがないためすみません。

・議会で何が議論されたのかを伝えるだけでなく、それが私たちの生活にどのように関係しているのかについても知りたいと思います。例えば、交通系、就職支援など大学生にとって身近なテーマについて、議会でどのような意見がでて、どう議論されたのかを図や具体例を交えて紹介があると議会をより身近に感じられるのかなと思いました。

・「市議会だより」を普段目にすることがなく、どこに置いてあるのか分からないので、もっと様々な場所に置いたらいいのではないかと感じた。

・傍聴できることについても案内がされていて良いと思います。やり取りを文字だけで見るよりも実際に傍聴したほうが興味が湧きやすいと思うので、定例会や傍聴の情報はもっと広めても良いと思います。

Q７　その他、鳥取市議会に対するご意見・ご感想について

・議員の方と交流する機会があまりないので、良い機会になりました。また参加したいです。

・今回のような機会を再び設けていただきたいです。

・当たり前ですが、議員の皆さまにもそれぞれお考えがあり、どれほど効果的な政策や考えを提案しても、議員間の考え方や所属の違いで通らない事実があることを感じました。もったいないなと思うので、どうか改善されると良いなと考えます。

・需要がどの程度あるのかわかりませんが　、飲み会をしてほしいです。個人的にですが・・・　　地域のおじ、おばと話す機会が今の学生にあまりありません。そういう機会を作るのに、少しでも何かあればありがたいです。

・もっと関われる機会を増やしていけたらいいなあと思ったが、その前には、こういう者です!!という認知が先なのかもしれません。鳥取の学生のみならず、全国の若い学生は政治などに関心を寄せる方はあまり多くはないので、まず小さい〇〇が届くところから取り組んでいけたらよいと思います。

・議員と話をする機会はあまりないので楽しかったです。ありがとうございました、

・今回、初めて鳥取市議会についての意見交換会に参加してみて、鳥取市が今どういった現状で、どのような問題を抱えているのかを知ることができました。ごみ問題や駅前の状況、公共交通機関に関わる問題など普段生活しているなかで、不便に感じていたことが言語化として理解することができました。特に印象に残っていることが、鳥取市が行っていた外国人観光客に対する取り組みです。そういった取り組みが行われていること自体、存在することを知らなかったので、とても印象に残っているし、それと同時にその取り組みがもっと広まればインバウンド需要が上がるのかなと思いました。

・鳥取市議会というと少し堅苦しいイメージがあり、はじめは緊張していたのですが、みなさんがあたたかく迎えてくださり、意見を言いやすい雰囲気でした。また知識不足の率直な質問にも丁寧に答えてくださり、私自身、鳥取市が地元でありながらも、知らなかったことも新たに知ることができました。貴重な機会をありがとうございました。

・意見交換会が始まる前とても緊張していましたが、司会の〇〇議員が積極的に話しかけてくださり、リラックスしてたくさん発言できました。私は、交通ネットワークの充実について話すグループを担当していました。車も自転車も持っておらず、普段から歩行者若しくは公共交通利用者であったため、その立場から意見を出させてもらいました。バス停の環境改善について提案した際、議員の方がどういった場所に何が必要なのかと話を掘り下げてくださったのが印象に残っています。また、循環バスくるりの利用についても仕組みから具体的な改善案まで幅広く語り合うことができたり、湖山町の道路環境について、様々な視点からお互いがルールを守っても怖い思いをするという問題を知ることができたのは、大変有意義であったと思いました。さらに、〇〇議員が私たちの意見に対して今までの経緯を教えてくださったり、質問や具体案を出してくださりすごいなと思いました。

・今回話した3つの課題が、相互に関係しあっていると感じました。何か1つの取り組みをすれば、それが他の側面に対して、よい影響も悪い影響も発生しうることの難しさを感じました。

・本日は、貴重なお時間をいただきありがとうございました。実際に議員の方と鳥取のまちについて意見交換でき、たくさんの発見や気づきができました。その後、議場にも入らせていただき、中にほどこされている工夫や思いを知ることができたのも本当に良かったです。行政や議会は、少し遠い存在に感じていましたが、議員の方から制度や現状について話を聞き、学生の意見に真剣に耳を傾けていただく中で、議会や行政をより身近に感じることができました。

・学生の声を直接市議会に反映させていただく機会を得ることができて大変良かった。今後も市議会と市民が近い距離感で市政について考えることができる場づくりをしていってほしいと思った。また、地域の声を聞き、柔軟に取り入れながら、よりよいまちづくりにつなげていくことの大切さ実感した。

・それぞれのテーマについて課題となっている３点や持っている印象などを書き出した後に意見交換をするという形で行われる中で自分にはなかった視点や考えを知ることができて面白かった。私たち学生目線からの課題と市議会の方目線からの課題は異なることもあったので、幅広い年代の意見を取り込むという意味合いでも意見交換会の意義を感じた。

・私は、環境問題がテーマのグループで話し合いを行った。ごみの分別について、ごみ袋代の引き下げを目指し、議会で積極的に提案を行っておられる〇〇議員がおられた。そのため、学生の立場からもごみ袋代が負担になっていることを率直に伝えやすい雰囲気であった。一人暮らしを経験し、ごみ袋は生活する上で必要不可欠であるが価格が高く家計の負担になっていた。遊びに使う費用、食費など減らせるものを減らし、バイトを増やしても日用品が切れて買いに行くと負担が大きかった。だから鳥取市のごみ袋代が少しでも安くなると学生は助かると感じた。

・今回はこのような機会をご用意いただきありがとうございました。議員の皆さんとお話させていただいたことも鳥取のこれからについて議論させていただいたことも、とても貴重な体験で、学ぶことも多くあり自分も成長できたと時間になりました。ありがとうございました。

・今回、議会報告会・意見交換会に参加し、とても貴重な体験でした。特に印象に残っているのは、議員の方々と交流して話し合いを行った意見交換会です。会では、グループに分かれて環境や交通、観光などについて学生の視点から感じていることなどを発表し、和やかな雰囲気で楽しかったです。会で出た内容や意見などが反映されてより良い鳥取市になればいいなと思いました。

・私たちの提案が、市議会での一般質問でも行われていて、少しでも鳥取市のためになれたと思えました。鳥取市に関わりを持つ1人として、鳥取市がより生活しやすい場所になり、多くの人が住みやすくなることを願っています。今回の意見交換会は、本当に良い勉強の機会になりました。議員さんのお話も伺って、自治体としてできることは限られていながらも、民間企業や住民と協力してできることが広がると思いました。また、何気なく過ごしている普段の生活の中でより交通、環境、観光など今回話し合ったことについて、注意して考えるようにもなりました。ありがとうございました。